

昭和 57 年 8 月 15 日(日)

太田(20th)と二人で火打に行きました。社会人となって初めてのまともな山行でありまして、非常にだらしのない山行となりました。装備は大分欠落して、ツェルトを持っては来たのですが、山行には持って行かず、小屋泊まり(高谷池ヒュッテ 1泊 1,800)、持ってきた筈のコッヘルが無く小屋に借りたり、二人の服装も、太田はスニーカー、私は建設現場の安全靴という有様です。二人とも登山靴は、ワングルの4年間で履き潰して使い物にならなかったのです。

さて、火打の山行、約6年前、私が未だ幼い大学1年生の時の、新練二次の山です。黒姫から笹ヶ峰、天狗の庭、火打と、七月中旬真っ盛りの頃、登りました。その時の素晴らしき感動は、下界に居る時でも常に新鮮な思い出として甦っているのです。その懐かしき山に登れて僕は今、満足です。ただし、同行の輩はどうしようもない奴で、その点だけは苦労が絶えなかった。現役諸君、元気でやっていますか。素晴らしい山行を沢山経験してください。

OB20th 水田徹

昭和 57 年 8 月 27 日(金)

8:58am 多人数で、電車で来ました。小屋には既に、小屋前のpwを終えた人達が、寝起きの顔そのまま、寝転んでいました。と、突然、藤原君その他数名は、笹ヶ峰へ行こう！ガッツありますね。夜行電車に疲れている私達は、ただもう眠りたい。

妙高はもう秋の気配たっぷり。残暑に苦しんだ下宿生活がウソのようです。5月の雪もすっかり消え、苗名小屋は緑に包まれ、明るい陽差しの中で私達を出迎えてくれました。

2年 25キ 砂 (砂賀晴美)

4:59pm 今やっと今日の掃除が一段落しました。雲が次々とやって来て、曇や毛布干しは少々、気を使ったりもして、でも雨になる事も無く…。夏合宿の4隊が今夜の食当、久々の小屋の料理が待ち遠しい。

同上

昭和 57 年 8 月 28 日(土)

5:54pm 小屋の掃除を終え、皆、外でソフトボールや、内で読書などをしている。

暁の老朽が進んで、来年はいろいろと新旧交換を考える必要があります。今日は4期の方が一人、家族連れで見えまして、なんと、その方達が小屋の建設に当たっていたそうで、長い時間かけて、小屋を眺めておりました。きっと、随分変わった小屋に、驚きを感じ

じた事でしょう。

22・23期の先輩がポツリポツリとみえて、次第に賑やかになってきました。好きです、こういう雰囲気。

2年 25th 砂賀晴美

昭和 57 年 8 月 29 日(日)

今日、昼(1:30pm)から、魔の2年 Meetingが始まる。みんな、ダレテル。そりゃそうだけ。他の学年は遊んでいるのに。まあいい、早くやって、早く終わって遊ぼうぜ～！

昭和 57 年 8 月 31 日(火)

8:00pm

現在、小屋にいる人間は15人。仲々静かでいい。今回は8/26、つまり小屋合宿の1日前、小屋に入った。その前の8/19～23迄は白馬から日本海迄を走破し、8/24、25は24thの酒井氏の、松本の家泊めて貰った。そして、明日9/1～4まで周辺pw 妙高～火打山～焼山～雨飾山(僕の主催)に出掛けます。確か、昨年も8/24～26に、戸隠乙妻笹ヶ峰と、小屋前に周辺pwに行った。僕は小屋周辺の山々の絶大なるファンの一人でありまして、と言うより、まあ今年のpwがととも良かったせいだろうか。ほんとに小屋の周りには良い山が沢山あると思っています。この辺の山は中級山岳としても十分立派な山だし、その割に人があんまり入ってなくて、静かで良い山です。今回のpwのコースは、信越線から大糸線まで、東から西へ縦走するという、天気さえ良ければ本当に素晴らしい山行が出来る、盛りだくさんのコースです。でも、今T15が父島の辺でウロウロしている処です。どうも、展望は期待できないかもしれません。が、しかし、天気が少々悪くても、どうしても僕は行きたい。最近の僕は、山に行く楽しみは、ただひたすら汗を流して歩くこと、なんてすごく単純な事に感じているのです。

話は変わりますが、今年の夏休みは全く遊びの連続であった。7/11日夏休みに突入、7/21～7/31夏合宿、8/2～8/6北海道内旅行、8/19～9/4pw白馬、小屋合宿、L講、周辺pwと、殆ど家を空けていた。これだけフラフラしていると流石に、9月からは青い。おまけにL養もあるのだ。でも、これでいいんだ、夏休みはバカンスとして過ごすのが一番いいんだ。学校が始まったら、それなりに又、都会のスモッグと雑踏の中で一生懸命頑張ればいいのだ。L養では、どういう訳かリーダーをやることになってしまった。日頃から怠慢な僕ではあるが、ここは一つ、力を出して頑張りたいと思う。L養が終わればいよいよ恐怖の2年meetingが始まるだろう。学校が始まれば、忙しい毎日が待っている。でも、忙しいからこそ充実するのだろう。4ヶ

月後、冬のスキーでこの小屋に来たときは充実した1年が送れたと、心から思いながら、美味しい酒が飲めるようにしたいものだ。 充実の秋に向けて

2年 25th 柏木修一

昭和 57 年 10 月 9 日(土)

57.10.9~11(月)

- ・19th 海野和明(26 才)静岡市 人口 43 万人
- ・19th 中島輝夫(27 才)千葉市 人口 72 万人
- ・19th 井上晃(25 才)八王子市 人口 30 万人
- ・19th 南靖英(25 才)東松山市 (何県か知らない人が多い) 人口 6 万人
- ・その他田村信子(21 才)桶川市 (字も知らない) 人口 17 万人
- ・その他成尾美代子(24 才)〇〇郡下総町 人口 8,000 人 (単位が違う)
- ・その他奥山直美(21 才)藤枝市 (の田舎) 人口 10 万人 (のいなか)

南君が 11 月中旬に三年間のアメリカ駐在に出発する予定なので、壮行を兼ねて 19th の男子部員が、またまた妙高にやって来ました。海野と中島は三年連続の秋の妙高で、今年が一番、山肌が美しかった。その他の三人は、19th の三人の男性と、何らかの形で繋がれています。誰と誰が結びつくのか、来年の妙高へ、一緒に来れる人は誰でしょう？

感想を一言ずつど〜ぞ。

- ・海野：台風一過の割には悪天だったけれど、笹ヶ峰、戸隠はさわやかで、天候も回復して良かった。
- ・中島：3年連続の、秋の小屋。今年は華やかな生活を夢見てやって来ました。山へも行かず、おじんの小屋生活をしました。
- ・井上：3日間の怠惰な生活で出たお腹に、脂肪が付いてしまった。そうはイカの〇〇タマ。
- ・南：海野、中島、井上、富田、石井(啓)の為、アメリカで良い「かつら」を買ってきます。
- ・田村：布団の中から突然にケムシがやって来た。お友達にならないうちに外へ出された……。紅葉がとってもきれいで感激！
- ・成尾：家を出発する迄は、天狗の庭へ行くと息巻いていた人が居たのに、結局、一步も歩かずの妙高でした。
- ・奥山：朝夕はやっぱり冷え込んだけれど、日中はとっても暖かかった。去年のようにお腹をこわす事も無く、今年は良かったけど、2日酔いで苦しんだ。イカのペケペケ、タコのナンタラと、変わった言葉も、叩き覚えさせられ、とっても鍛えられてしまいました。来年も来たいナ〜。

OB19th 海野和明

昭和 57 年 10 月 11 日(月)

57.10.10~10.11

15 期谷島です。(10 年振りの山小屋)

職場の仲間 9 人で来ました。(女 6 人、男 3 人) 初めて山に登った人 2 人！

火打山に登ってきました。笹ヶ峰まで車で、それから何と 9 時頃〜帰りは 6 時 30 分。薄暗い中を、懐電も持たずに歩いてきました。全員登頂…。寒さに震えて帰ってくると、暖かい炬燵が (19 期のみなさん、本当にありがとう)・みんな、山と山小屋を気に入ってくれた様です。またきます。 さようなら 山小屋！

OB15th 谷島章与

立派な小屋で驚き、山小屋で暖かい思いをしたのは初めてでした！

今井章司 (25 才+10)、杉山和夫 (25 才+?)

渡辺典子 (25 才+夫)、谷島章与 (25+?)

赤井直美 (25 才+?)、小倉睦 (25-?)

永山清子 (25+α)、清水浩子(25-α)、

*島久美子 (正真正銘 25 才) 外部

昭和 57 年 12 月 22 日(水)

57.12/22

積雪 70 cm スキー可. の情報を得て、授業をさぼって、昨日小屋入りした。But, なんと雪が無い…リフトも動いてない。当然私達経一経 6 人は、昨日えっこらえっこら歩いて来たのです。

今日も雪の降る気配がない。食糧も無ければ酒も無い。一体、私達は何をしに来たのだろう。

25 期 阿美、永田、毛利、高野

26 期 千田

昭和 57 年 12 月 24 日(金)

全く もって、スキーの出来ない、冬の山小屋はしようがない。

雪なし小屋 マージャンばかり つよくなり

昭和 57 年 12 月 27 日(月)

pm1:03

私はスキー用具に恵まれていない。昨年 12/24 日、1 年生の私は、重〜い荷物をせせせこと小屋迄運んできた。その後、free time はスキーの練習をしていたのです。その最中、斜滑降に挑戦したのも空しく転倒し、ビンディングが固くて右足捻挫。即日、栃木の自宅まで帰りました。そして今年もこうやって、みんなが練

習を始めたというのに、小屋に残って、壊れたビンディングを直して貰っているのです。早川※、有り難う。

2年25期 砂賀

※注：早川は砂賀の1年先輩です。

昭和57年12月29日(水)

今日、横浜へ帰ることにする。今年は雪が少なく、あまり小屋に居る気にもなれないし、金も無い。やっこさ執行部も終わり、小屋に来たものの、結局 酒飲んで、酔っぱらっているだけだった様な気がする。それじゃバイバイ。

3年24キ 岡田拓

昭和57年12月30日(木)

7:20am

現在の宿泊人数 10人

現在起きている人 1人

最近、下宿での睡眠時間が慢性的に短く、あまり長く眠らなくても良いようになってしまったので、今 起きている訳であります。とにかく腹が減って仕方がない。早く2年が起きてくれないか、待っているのだが、起きる気配も無い。

毎年毎年こうやって、冬の山小屋へ来ているのだが、別に、格別にスキーをやりたくて来ているのでは無い気がする。来ればスキーをやるのだが、何か別の物を求めている様なのだ。部室でも、ワンダリングに於いてでも、構成しているメンバーというものは、全く変わり無いのだけれど、苗名小屋に於ける集団というものは、特異な雰囲気を作り上げるものだと思って来た。過去形で”来た”と書いたのは、どうも最近の小屋関係というものが軽んじられている様な気がしてならない。これは、私の思っている事だけで、他の人々は全くそうでないかも知れぬが・・・。

よく考えることだが、3年ももう、終わりの頃となり、執行部の引継も間近となった今、1年の頃の事が、とても懐かしく感じ、且つ、自分の今の位置と比較してしまう。1年の時の審査委員長と自分、審査委員会と現審査委員会、1年の時のリーダーだった人々と今年リーダーをやった自分。比較すればするほど考えてしまう。

究極に処、何が言いたいのか分からないけれど、結局、文章を書くということは、ある種の排泄行為なので、本人がスッキリすれば、それで良いのではないかと思ひ、ここでペンを置く事にする。

外はだんだん雪模様となってきました。

3年24キ 酒井文隆

昭和58年1月14日(金)

雪のち晴れ

入小屋<14→17日 OB20th 石垣、外武藤・安彦・ツン・神原・杉山・河合(石垣友) >

昭和58年1月15日(土)

雪のち雪

入小屋<15→16 外植田・斉藤・小野・加藤、15→17 外原口・藤森・藤倉・小林・安田・菱田(兼松江商ハイク部) >

久々に山小屋に入った。友達6人を連れて来たが、入小屋は参った参った。新雪だらけで、第5リフトの下からラッセル。ヒザまで雪に埋もれながら、雪に打たれて2時間弱。それから、井戸探し。木につけてあるプレートを見ながら掘った。比較的雪が軽かったから早かったが、約2メートル。一パツで見つかった…ラッキーである。

以上、1/14 入小屋状況。

燃料は豊富にあったが、練炭が一つしかなかった。練炭は何処ででしょうか。練炭ヤーイ。腹が減ったので続きはあとで…

OB20キ 石垣

今は11時15分。KG(兼松江商の略)のハイク部の仲間及びその友達と酒を飲んで騒いで、バカ騒ぎしております。そろそろシュラフを出して寝ようと考えております。…一人が眠りたいと言ひだし、眠る場所を探し出すと、連鎖反応で、全員がシュラフを持ち、駆け回って。しかし、一ヶ所に17人が固まって、二階はカラ。何故でしょう？夜中は寒い、という話をしてから、みんな固まって。別に2階でも変わらないのに。今は、テントの中の様にぎゅうぎゅう詰めになって寝てます。(ラジオでは長野コココーラのコマーシャルが流れて)

それにしても、今日は久し振りに現役の頃を思い出した。騒ぎに騒いで、のどが痛い。山小屋で今日は2晩目。社会人と言っても、バカはバカで、学生の時と大して変わらない感じだ。

OB20th 石垣

昭和58年1月22日(土)

雪

入小屋<22→23日 3年24th 今野一成(元)、外青木眞一・貝原典也・今井浩人・江原慎司・藤森高輝(今野友安工3年)>

友達5人(安工3年)と山小屋に来ました。本当は1月14日から、入る予定だったのだけど、僕の都合で今日になってしまった。友達には、スキー場のすぐ隣で、宿泊費は安い、という事で誘ったのだけれど、Jバー

リフトから小屋迄3, 4時間もかかってしまい、ラッセルに似た様なものになってしまった。それで今日は、スキーは出来なくなってしまった。井戸も、掘る時間が無く、水も凍ってしまい、雪を溶かして飲料にした。友達は” 残酷ツアー” と、盛んに嘆いていた。とにかく寒い。服は雪まみれ、小屋の位置も最初判らず、引き返して民宿に泊まろうかと何度も思った。1週間前に石垣さん達が入ったのに、道は全然なし。入口は雪の山。スキーどころではなくなってしまった。しかし、約1年半振りの小屋なので、懐かしかった。今度来る時は、クラブの合宿の後に入るようにします。友達K:感動した。誰かがラッセルした後に入りたい。友達A:もう、二度と来ない。友達F:帰りたい。友達E:疲れて寝る。明日はブリバリに滑ります。

3年元24キ 今野

昭和58年2月13日(日)

1983年2月11~13日

事務所仲間(中島くん、飯浜くん)と、中島くんの友達(酒庭くん)と4人で来ました。昨年もこの時期に来ましたが、今回の方が天気はもう一歩という処です。

14期も、昨年10月に吉田(忠)が結婚、今月の26日には日野が結婚します。私も5月に二人目が生まれる予定で、時の経つのを、少々感ぜずにはいられません。

今日も、造林小屋の雪かきは出来ましたが、小屋は今一歩で、未だ残っています。22期の二人が居たおかげで、快適な生活ができましたよ。

(OB14期 小口)

昭和58年2月18日(金)

'82.2.16(水)~18(金) 23期 吉田剛

高校時代のマージャン仲間と2人で入った。16日は午後から滑れたが、今日(17日)は強風のため、リフトが全面ストップ、何の為に来たかわからん。結局、小屋に戻って雪下ろしをした。えらく疲れた。

土曜に用事があるので明日帰る。大神は仕事があるので朝一番で帰りがっている。せつかく妙高まで来て、半日しか滑らずに帰るのは、頭に来る。明日は午前中ピンピンに滑って欲求不満を解消してから帰ろうぜ、大神君。

大神は贅沢にできているから、小屋の生活が気に入ったようだ。今日も夕飯を一人で作ってくれた。オレが雪下ろしを終わって帰ってくると、コタツの上に料理を並べて待っていてくれた。かいいいこと、この

上ない。因みに、今日の飯はスシ太郎、「うまい」と誉めたらニコリ微笑んだ。

さて、これから二人、水入らずで酒を飲もう。

4年23rd 吉田剛

スキーやって安く上がるってんで妙高くんだりまで来たのに、リフトが動かねーってんで、マル一日潰れちまったヨ。大体 この山小屋はなんだ!汚ねーし、寒いし、スキー場まで登らなきゃならねーし、ゴミは燃やさなきゃならねーしよ!せつかくの春休みを、バイトをして金貯めて、車買おーとしていのに、こらじゃ何にもならねーじゃんか。大体、”シクタ”がワンゲルなんてしょーもないクラブをやっているから悪いんだ。もともと俺はゼータクに出来ていて、スキーなんてペンションに泊まってやるもんだと思っていたのに…。まさかサバイバルゲームをこの年でするとは思わなかったヨ。

しかし、ワンゲルって何が楽しいのかねえ。重荷物しよって汚いカッコして(山に入ってる間は風呂にも入らないそーで) 苦しい山登りするなんて。唯一得られるものは、ソーカイ感ですか?そんな事だと、青春の無駄遣いだったと、年くってからコーカイするのではないの。若い時は、パーと遊ばなきゃ。女引っかけて、良い酒飲んで、映画見て(因みに映画大好きなんですヨ)…。マア、他人のやることだから、ドーでもいいけどね。

最後に、これからの横国のワンゲルの皆さん、シクタはOBになっても(4年はOBだけ)山登りをしたいそーですが、何時もメンツが一人欠けて、マージャンが出来なかったの、シクタをOBとして認知せず、山登りには連れて行かないで下さい。シクタが居ないと、負けが多くなるのでヒジョーに迷惑!!しています。

寒くて汚くて暗い山小屋にて 大神(外部・吉田友)

昭和58年3月2日(水)

天気 曇・朝

永田さん、20才のお誕生日おめでとうございます。今朝から禁煙がんばってね!そして禁酒、禁マン、禁?さて、現在の在小屋の人々を紹介…

加藤、大津山(23rd)

ながた、あみ(25th) …でした。(3/1朝妙高着)

何故だ!今頃になっても4人とは!若者よ、元気が無いなあ。

私メにとり、久々の小屋は、いつもの通り汚かった。そして寒かった。いずれにしても昨夜は4名で、贅沢な気分にあった。井戸掘り初め、若者達の活躍を期待したい事が沢山ある。待ち遠しいのう。(オジンくさ!)

スキーは、初め三人とも、殆ど出来ない聞いていたけど、竹中さんは、杉ノ原へ行っても一緒に滑れるぐらいガッツがある。遠藤さんは、未だ3日目とかで、ボーゲンを練習、回れる様になりました。森君はスキー初めて。腰が引けてかっこわるいけど、ボーゲンでは回れるようになりました。

サンアントンのおじさんお婆さんとも、当分お別れ、今回、2日間、いろいろご馳走されて4人で感激しました。

ボクは東電へ就職、原子力発電所へ行くと思うので、柏崎なら度々山小屋へも入れると思う。

夜はマージャン、ジャラジャラ…

3/13(日)の朝方、8期のサキ(?)さんという方が、五八木荘で、誰か入っていると言うので小屋へ来られました。今回、会社の人(宇宙開発事業団)60人で滑りに来ているそうです。

それでは、OB・現役の皆さん、この苗名小屋で会いましょう。

4年23期 丸茂俊二

何年前か、もう忘れたが、スキーをした事があったので、そんなには苦勞しないと思っていたが、何とザックを担いでリフトを乗り継いで、小屋に入る迄には七転八倒!雪路を外れ、小屋が見えた時にはホッとした。思っていたより小屋が大きい。

1日目は雨が身体から熱を奪い、ウェアはビショリ。明日の天気期待しつつ、4時30分には小屋に戻る。

2日目の朝は、昨夕より大分積雪していて、リフトまで出るのが苦痛。スキーは余り進歩せず。

3日目は快晴。Tバーリフトにも挑戦。1回目に乗れた。大分上達したが、ゲレンデが硬くて跳ねているような感じ、少々怖い。午後は強風のため、第4リフトとTバーリフトが止まり、小屋へ帰る都合上、少々カケヒキしながら滑る。今夜で最後、カレーを作ったが、量が多すぎ皆微笑すら顔に出ず。麻雀もリーチをかける度に当てられ、めげた(E)。

最後に、ワンゲル部の皆さん、小屋を使わせて頂き、有り難うございました。

外部 遠藤栄作(丸茂友)

昭和58年3月16日(水)

久しぶりのスキー、実に中学3年生の時以来、8年振りのスキーでありましたが、思ったより上手く滑る事が出来ました。いや、実に楽しかったです。この小屋での生活も、珍しい事もあって、楽し(?)かった様な気がします。こんなサバイバル生活も初めてなら、あんな雪の中を歩くのも初めて。こんなに寒い、と言うよりも冷たい部屋の中で生活するのも初めて。朝にはシェラフの中の温もりが全く無いのだからビックリしま

した。風邪を引かなかったのが不思議なくらい。本当に良い思い出が出来ました。

水と火の大切さを、身を以て思い知らされたこの小屋の生活とも、今日でお別れ…嬉しいような、悲しいような複雑な気持ですよ。一生忘れないでしょうね。

ロウソク2本の灯りの下のマージャン。トータルが-97とくれば、これは忘れられないよ…全くくやしい。こら丸茂!親のハネマン返せ。

とにかく、この苗名小屋さん、およびワンゲルの皆さん。3日間どうもありがとう!

1983.3.16 IM1641 (音は31665)

竹中泰司 外部・(丸茂友)

初めてのスキーがこの苗名小屋でのものだった。僕のイメージは、スキーとはもっと楽しいものであったが、それが、一気に音を立てて崩れ去り、苦しいものとなった。小屋迄の林道がつかかった。ラッセル隊の意味が初めて分かった。しかし、スキーもある程度覚え、小屋の独特の雰囲気も味わえて、良い思い出となった。夜はマージャンオンリー。初日で-90まで沈んだが、最終日で+6に浮上した。根性!

大自然と互いに生きるワンゲルの皆さん。どうも有り難うございました。

1983.3.16 機械科4年 ESS 部員 森滋 外部・(丸茂友)

昭和58年3月20日(日)

1983.3/19~3/21 5名宿泊す。スキーと歌、飯 etc 立浪和也(22期):再び大学に入って、仙人の道を究めるような。

西田博司(22期):新年のプレリユードを汚しに来た。津江真行(22期):サラリーマン1周忌を迎える前、人生の垢を落としに来た。

島田英海(横国大山歩会OB):ただ騒ぎに来た。

丁場友子(中学校の先生):この中の一人の知人。さあて誰でしょう?

ト快晴

もう一年間太平洋を見ていない。現在、富山県(田舎)に住んでいる。スキーは久しぶり。小屋に横浜より近い事が唯一の利点だろう。小屋に来た諸君、時間が許すならば是非日本海を眺めに寄ってくれ。大歓迎するだろう。

富山県 0766-23-2745 OB22nd 立浪和也

2日程前に450cmの積雪があって、小屋がたっぷり雪に埋まっていた。何とかラッセルして、潜り込んだという感じだった。しかし小屋は、俺達をあっただかく迎えてくれた。キレイに整理された小屋を見ると、非常

に嬉しいもんだ。現役諸君、ありがとう。OB になって小屋に来ると、また違った意味でイイ。オジン臭い話だが、学生時代に戻った気がして、心身共に若返った気がする。非常に落ち着くもんだ。今夜は最高。現役組は今、pw などで忙しいことだろう。天気恵まれて、思い出に残る山行が出来ることを祈る。俺も4月から5月には、この小屋迄バイクで来る。その時合えれば、また飲んで騒ごうぜ。それじゃ、また。

OB22nd 津江真行

みなさん こんにちは。
私は島田英海と申します。さんぽ会に所属していました。ワングルの皆様には学生時代からお世話になっていました。社会人となってから、初めてこの小屋に来させて頂きました。非常に良い小屋で感動しました。また来たいと思います。ワングルの偉大さを見せて頂きました。本当に有り難うございました。さようなら。

島田英海・外部 (横国大山歩会 OB)

久しぶりの休暇を利用してスキーにやってきました。OB になってからのほうが、小屋へ来る機会が多くなり、スキーをする回数も増えました。3月に入ってから、雪が結構降ったらしく、雪質も上々、快晴に恵まれ、ゲレンデにはカワイイ女性及び女の子が多数居り、楽しく休暇を過ごしました。またまた訪れる事も多々あると思いますので、何とぞよろしく。

OB 22 期西田博司

昭和 58 年 3 月 29 日(火)

山室 (晴美) さん (21) <突き指しにきた>、
鴨志田 (岳志) さん (22) <トイレッ子に会いに来た>、
谷内 (佳子) さん (22) <ザックに酒を飲ませに来た>
と私ムトー (23) <いつもと同じ> でスキーに来ました。

●小屋を愛する歌 (「四季の歌」の節で)

◇小屋を愛する人は

夢多き人
酒をかたてに山をかたる
僕の友達

◇小屋を愛する人は

心にくき人
ローンを片手にメンツをこする
僕の失敗

◇小屋を愛する人は

我慢強い人
スプーンを片手に カレーを食べる
キジを汲む人

◇小屋を愛する人は

心 若き人
1 日券で 30 回滑り

威張り散らす人

OB23rd 武藤秀二

昭和 58 年 3 月 30 日(水)

1 年 3 ヶ月振りに入小屋しました。今シーズンは、3 月に入ってから大分降雪があったようで、下旬と言うのに小屋が埋まっていた。しかし、妙高山、黒姫山共、いつもと変わらぬ表情で、一寸スキーに来たという、ほんとに気楽な風景だと感じました。殆ど無理矢理連れてきてしまった谷内さんと武藤君、いろいろありがとうございました。そして鴨くん、まだ楽しい運転が待っている、ルンルン
それにしても つ、つ、つきゆびが痛い。もう杉の原なんか行かないぞ。

OB 21st 山室晴美

久しぶりの山小屋です。3 月の下旬に、こんなに雪が多いのでびっくりしました。スキーの上手さは相変わらず。ゲレンデに穴ばかり。今朝は体中が痛い。スキーは 2 日が限度の様です。寒さに弱い私は早くお風呂に入りたい。

OB 22 期 谷内佳子

昭和 58 年 4 月 16 日(土)

10:00am

OB になって早や 4 年。OB として初めて小屋に入りました。会社の友人 5 名と三田原へ登る積もりで…。しかし、昨日も雨、今日も雨。今は何もする事が無く、ボケーとしています。

話は変わるが、小屋の中がきれいで大変感謝しています(外は別だが)。この小屋日誌をめくると、懐かしい名前が出てきた。水田・太田・石垣・海野と中島さん・南さん・井上さん等々…。一青春時代を一緒に過ごした仲間が懐かしい。また小屋へは来るつもりです。その時はよろしく。明日帰ります。

(OB 20 キ 武藤功二)

83.4.15~17

20 キ武藤功二 (山武ハネウエル株) 25 才独身

奥山満 (同) 26 才既婚者

奥山恵美子 (同) 25 才既婚者

湯山真理 (同) 21 才独身

松本登志江 (同) 21 才独身

西岡善夫 (同) 24 才独身

初めて山小屋と言うところへ来た。あいにくの天気です少々残念だが、久しぶりにノンビリとした気分だ。こういうところへ来ると、時間の感覚がマヒして、何気なく時間が過ぎてしまう。昔の人の生活が思い浮かぶようだ。機会があればまた来たいものだ。

20 期武藤君の友人 奥山満

4 月 14 日(木) 夜 12:00pm 頃出発して山小屋に来ました。着いた日 雨で、次の日も雨で、結局スキーはやらずに帰りそうです…。

私にとっては大変休養になりました。車の中でも寝たし、夜もたくさん寝ました。(歯ぎしりの人と、鼾のうるさい人に挟まれたにも拘わらず。) 運転手の皆さん、ゴク로우サンでした。月曜日からまた、いつもの生活に戻らなくてはいけないのだ…。

みんなに山スキーをやって、痩せて帰ると言った手前、どうしようと思っているのです…後一泊残っているので、これからの分も寝溜めしようと思っています…

Eiko 外部・奥山恵美子 (武藤友)

春スキーでバッチリ顔を焼こう!…と意気込んで来たのに、どうも雨男が居るらしい。荷物を運んでいる時が最高の雨降り、もうビショビショ。でも何故か楽しいネ。初めて、山小屋で自分で食事(洗えない野菜等)作って、仲々おいしかったです。

免許をとって約半年、野尻湖迄 2 時間運転させて貰えて満足です。

はじめまして。20 期のムトウさんに連れられて初めて山小屋に来ました。お天気は残念ながら雨。山スキーをし、少しはシェイプアップ出来ると期待していましたが、特にする事も無く、暇さえあればモノを口に運んでいたものだから、ちょっと危険なのだ。

田舎に来たようで、とても休養できました。食事を作り、食べ、そして寝る。晴れてないと、する事が無く、ちょっと困ったけど、本も沢山あったし…楽しい 2 泊 3 日でした。

…Toshie, Matsumoto…外部・松本登志江 (武藤友)

今年はスキー行くところどこも雨。今シーズン最後のスキーと期待して来たのですが、やはり雨、結局スキーは出来ません。会社との往復以外行った事の無い私の車 カローラ、坂道にはかなり苦しみましたが、無事走ってます。

スキーは出来ませんでしたが、何か楽しい 3 日間でした。とても神経質な僕ですが、この 3 日間で随分変わりました。ムトウさんの普段の生活が理解できました。なんやかやで、もう 24 才ですが(独身)…26 才までには独身で無くなりたい。でも無理みたい。

西岡善夫 24 才外部 (武藤友)

12:00pm

今日は雨で、やる事が無いので、妙高駅までお風呂へ行き、それから斑尾スキー場へ行って来ました。妙高から斑尾へ直接行く道は雪でダメ、結局、飯山経由で行きました。斑尾はウワサ通りミーハーなペンションが多く、喫茶店も未だ何軒かやっていました。その内の一軒に入りコーヒーを飲み小屋へ帰ってきました。笹ヶ峰への道は、今日現在、池の峰まで除雪されています。小屋近くまで除雪されていた為、小屋へ入るのが楽だったものの、もし除雪されていなかったら、この様な多くの荷物を担いで入るとしたら、如何に大変だったか、想像に耐えられません。

今、外は土砂降りの雨、明日帰り、明後日からはいつものサラリーマン生活に戻りますが、小屋の生活はやっぱりイイですね。OB として、この様な小屋に来れる自分が幸せに思います。現役の諸君、小屋をいつまでも大切に、また勉強に、山に精一杯頑張ってもらいたい。

また小屋へ来たいと思う。その時は可愛い嫁さんと一緒に(あくまで願望でしかないが)。子供が出来たら火打へハイキングに行くのもいいですね。都市化が進み、益々自然から遠ざかって行く今日、この様な時間・空間は、子供にとって絶対必要な事だと思う。自分の子供には色々な経験をさせたいと思う、そして遅く。

(未だ嫁さんも居ないのに、考えるのは早過ぎるかな)

今、他の人は寝静まり、一人で酒を飲み、小屋日誌を書いています。久しぶりに自分を見直せる時間が出来ました。寮と会社の往復の毎日、休日出勤等々、会社で過ごす時間が、自分の生活に大きなウェイトを占めている今日この頃、このような体験は貴重な体験だと思う。

そろそろ酒もまわってきた様です。今ラジオでは、オールナイトニッポンで、松田聖子の曲をやっています。ではこの辺で、筆を置く事にします。

(OB20キ 武藤功二)

追) 山武ハネウェルへ来ませんか? (20キ武藤、22キ西田が東林間寮にてお待ちしております。

昭和 58 年 4 月 29 日(金)

GoldenWeek の小屋は2年振り。今年は小屋委員となって1年生を連れてきたのです。――とは言っても、やって来たのは(4年)田沢さん(24キ)、(2年)藤原(ガメ)くん・小宮(ジラ)くん(26期)と一緒にです。

これから駅まで1年生を迎えに行くんだ。1年生はこの小屋をどう思うかなー。

カギを受け取っていないのに何故か小屋に入っている

3年 25th 高橋道子

これから五八木荘のおじさんの所にシュウマイ真空パックを届け、小屋のカギを受け取りにゆきます。

カワサキのセドリックは緑色 (ガメいろ)。

天皇誕生日…みんな忘れてる…。(大事とは言えぬが)

今年、新入部員で春の小屋に来たのは6人、今、テクテクと、苗名の滝に向かっていく頃です。雨が降らなくて良かった。5/1 まで降って欲しくないですね。今日のお昼は例年と違いますよ。サンアントンの経営するお店が本日開店。苗名の滝の近くだそうです。そこで、みんなでそのお店に出向こうという訳です。ワイ

3年 25期 砂賀晴美

昭和 58 年 5 月 2 日(月)

7:40am 25期 浜崎信行 (現在3年生)

今、小屋には僕一人である。4/29~5/1 の3日間、例年の如く新入部員を小屋へ連れてきた。僕は5月の小屋には来たことが無かったので、一緒にくっついて来ました。苗名の滝・笹ヶ峰・野尻湖と見に行くところはいつもと同じで、我々上級生にとっては新しい発見は無かったが、一年生達は満足してくれたかな? 新しい発見と言えば、小屋の入口に置いておいたゴミが荒らされていた事。きっと野ウサギか何かか餌を求めて来たのでしょう。

僕以外の全員は、昨日帰ってしまいました。僕は特に用事もないので、もう少しプラプラしていこうと言う訳で、昨日は杉野沢から一人で小屋迄歩いてきました。小屋の中でも、唯一人で夜を過ごしました。前から一度は、一人で泊まってみたいと思っていたのですが、コワイコワイと言われる程、恐くなかった。もうしばらく居てもいいんだけど、食糧も無いし、今日下りようと思う。日本海の方へでも、足を伸ばしに行くかな。

3年 25th 浜崎信行

昭和 58 年 8 月 6 日(土)

夜というか、8/6 2:00am 入小屋しました。誰か居るかも…と、少なからず期待していたけど、誰も居らず。この時期、現役はpwだろうし、OBも未だ盆休みじゃないし、時間があるのは教員くらいかな。

『日本全国研修旅行』

の途中であります。

まあ、オートバイで日本全国を(沖縄はヒマと金が無く行けず、各地の島及び列島内陸部の殆どは訪れないという、例えばモナカの皮的旅行、タイヤキの皮程、或いはアンコ程も見れないというアサハカなる旅行)ぐるーと走っているだけ。1日平均 300~500 km。それでも、その地の人情には大いに触れることが出来満足。

初めは小屋に寄る積もりは無かったのだけれど、近づいて来るとやっぱり、オジャマしたくなっちゃったなあ。

《溝畑晃道 24才 独身。末はシルクロードか、世界へがんばりまっちゅ〜》

『日本全国研修旅行』

ーいままでの行程、これからの行程・プロフィールー
※プロフィール※

◇本人：S.33.10.21 生。AB。常識持つ変人。現役の時から、本流とは違う、支流ばかり。

◇死んで悲しむ人：富士火災(保険会社)

◇特技：じっとしていられない(欠点か!)。本校(市立富士見中学)の生徒と同じ、情緒不安定者。

◇総ガソリン：3001(予定・燃費 30 km l として)

◇総費用：15万円(食事でぜいたくをしている)

◇使用オートバイ：YAMAHA XT250 (21ps)、今年製造中止になりました。

◇走行距離：9000 km前後

◇なんと：札幌ススキノで17,000円落としちゃった。

(日本地図に行程掲載：略)

これが中学校の教師の書いた日本地図。ああ、日本の中学校は荒れている。

横浜ー7/28ー仙台ー7/29ー長万部ー7/30ー釧路ー7/31ー網走ー8/1ー屈斜路湖ー8/2ー千歳ー8/3ー江差ー8/4

一能代-8/5-妙高-8/6-三国-8/7-鳥取-8/8-長門-8/9-水俣-8/10-延岡-8/11-室戸-8/12-那智勝浦-8/13-名古屋-8/14-横浜
”日本の女性は美しい”

昭和58年12月27日(火)

職場の同僚と共に小屋。好天に恵まれ、友人はプフルークボーゲンを何とかマスターしました。もう来年のスキー教室は完璧です。

来年はまた、横浜国大生(院生)としてお世話になります。では、さいなら。

OB 21キ 溝畑晃道とその同僚伏見真人 (+8%)

昭和59年1月2日(月)

23キ 丸茂俊二

昨年4月、東京電力(株)福島第2原子力建設所に就職して、なかなか苗名小屋へは入れそうも無いと思っていたけど、今回、佳子さんを連れて入りました。福島の住民となって8ヶ月が過ぎました。浜通りと言われる太平洋側、4畳半の独身寮で、酒を飲みながら長い夜を楽しんでいます。ゴルフ(コース10回)、テニス、スキー(天元台)と、地域に対応した遊びをしています。スキーは1級のカー先生から上手くなったと言われたので、気をよくして、今日も滑れそー。

又今度、楽しい山小屋へ入りたいと思います。

979-11 福島県双葉郡富岡町大字小良ヶ浜字一ノ沢
186-2 夜の森独身寮 02402(2)0744

OB21st 丸茂俊二

食当さん、毎回おいしいご馳走をどうもありがとうございました。生まれて初めて、新年をスキー場で迎えることができ、良かったと思います。楽しい人達ばかりで、夜も愉快地に過ごせました。

1984.2.1 管 佳子・外部(丸茂友)

附録で参加させて頂きまして、どーもありがとうございました。いろいろ、初めての体験をしました。電気の無い夜も初めてだったし、寝袋も初めて…。とても面白かったです。夜も寝るのが惜しいくらいでした。知り合うことが出来て、本当に良かった…。最後にもう一度、どーもありがとうございました。

1.2 塚田久美子

今年で2回目の小屋の生活です。今回は存分に滑って、スキーも上手になって帰ろうと思っていたのに、2日目から体調が悪くて、寝込んでしまって、結局、1日しか滑れなくて非常に残念でした。皆さんにも御心配をおかけして、どうもすみませんでした。ああ、もっ

と騒ぎたかった…。

'84. 1/2 仙名祐子

私は吉田豊の妹の綾子です。突然この小屋にオジャマさせて貰うことになりました。スキーも初めてで、いっぺんにいろいろな経験をしました。スキーはあまりうまく出来なかったけれど、小屋の夜は楽しかったです。30日に来て2日まで、初めはどうなることかと思っただけど、何となく帰るのが勿体なくなってきました。いつも兄に聞いているワングルの人達の性格も知ることが出来て良かったです。仲間に入れてくださってありがとうございました。

1984.1.2 吉田綾子 外部・(吉田豊妹)

曇のち晴れ

初めてこの小屋のお世話になりました。寺嶋クンです。山小屋で一夜を明かすのも初めてで、音も全く無く、不気味なほどの静けさで、時が経つのが非常に遅い。7時過ぎだというのに、飯も食ったし、これからは酒でも飲んでマージャンするしかない!明日は朝からガンガン滑るぞ。

リクルートの寺嶋典裕

こんにちは、富山から来ました。学友の立浪に連れられてやって来ました。静かです。良い小屋ですね。妙高は富山より田舎。ここは電気もないし、水道も無い。でも音楽がある。島田の唄がある。ランプの光ににぶく輝くホワイトのボトルがある。ツラオンザロックも。今宵、忘れてきた何かを見つける旅一夢の中へ

外部・市川信也(立浪友)

毎度お世話様です。ワングル22キOBに加わらせて頂きました、さんぽ会OBの島田英海です。この小屋に泊まらせて頂くのも既に3回目。ワングルの方にはいつも遊んで貰って、非常に感謝しています。何か、私に出来る事がありましたら、いつでもやります。金は無いので、労働で対価を支払います。今後とも宜しくお願いします。

外部・島田英海

昭和59年1月7日(土)

帰って参りました。何年振りだろう。4年振りだろうか。新潟より車でやって参りました。丸茂の字が懐かしい。また、みんなで会うことがあったら呼んで欲しい。一人で来たものの、昼でもこの小屋は寂しいね。もう少しきれいにならないかね。中川さんが怒るよ。現在、三菱瓦斯化学新潟工業所に居ます。何か、本当になつかしい。昔の野獣の血が騒ぐ。

なにかあったら連絡下さい。

May peace prevail on earth!

ガッツ!

Tel 0252-59-7871

OB23rd 森嶋千唐

昭和 59 年 1 月 8 日(日)

永田 25th

友達を連れて 5 日から来ています。森嶋さん、小屋が汚れているのは、僕達が居るからです。すみません。小屋は寒い。

3 年 25th 永田武

昭和 59 年 1 月 15 日(日)

浜崎信行(25th)

クラスの友達、その友達を連れて、計 6 名で小屋に来ました。冗談で持ち上がった話が、マジに大きくなって、計画が一人歩きして本当に来てしまいました。オレは小屋に来るのはもう何回も来てるけど、ワングル部員以外のヤツを連れてくるのは初めてなので、いろいろワングルの慣習を教えるのが楽しかったなあ。以下、メンバーの感想を聞きたいな!

3 年 25th 浜崎信行

心理科 3 年 Today is my birthday. What my 22th birthday is nice.

浜チュウとの酒の話が実現して、ワタシ本当に幸せ。こんな雪の世界も初めて。山小屋も初めて。ましてやスキーに来るのも初体験。この小屋に来る迄に全精力を使い果たして、浜チュウとの初体験まで、力が及ばず。ああー残念。2 日目にして、この生活は very happy . 今度は浜チュウとの二人きりの世界を。

外・立川龍之介 (浜崎友)

情報工学科 3 年

何か知らないうちに、とにかく安く泊まれると言うので、はるばる こんな凄惨な所に来てしまった。電気も水道も無いと言うので、かなりの覚悟はしてきたが、リュックを背負ってここまで来るまでに、既にグロッキー、且つ、夜の寒さでダブルパンチを受け、次の日もここで夜を過ごせるのか、という感じだった。しかし、既にもう慣れたせいか、2 日目の今はもうカイケキ。カイクン。兎に角、火があると言うだけで幸せになれるという気分は、下界では味わえない貴重なものである。(あなたはえらい。4 年になったら西村研に来なさい。ムト 西村研 M1) もう試験の待っている下界には帰りたくない!

外・西沢徳久 (浜崎友)

電気 3 年

いろいろ旅館の手配をしたが、遅すぎたので予約が取れず、ここに泊まることになった。行きの電車から凍え死にそうになり、どうなることかと思っただが、明日には無事に帰れそうでホッとしている。一番大変だったのは、行きのラッセルで、如何にスキーの達人な私でも大変だった。

外・*柳幹介 (浜崎友)

ファンレターの宛先 大阪府吹田市千里山東 1-7-47
下宿 横浜市旭区川島町 2898 白根荘 202 号
横浜国大体育科 3 年長谷川常吉 (ツチ: 本名です)

1 月 12 日朝に八方尾根スキー場から帰ってきてその日、学校でこの計画を聞き、可愛い家政科 2 年の千春 chan もここに来るという事で (ツアーで) 迷わず即決して来てしまいました。ゲレンデで千春 chan にも会えたとし、仲良く杉ノ原ゲレンデを滑って Verry Happy! 千春に会いたい為に来ただけという私でした。でも、スキーは上手いんだぞ! でも、思ったより快適な生活! いつまでも「苗名小屋」を大切に!

三年目の浮気

I Love 千春

何言ってるんだ。アリスケ ゴッコンのくせして。

ps ALice ゴメン!

外・長谷川常吉 (浜崎友)

心理科 3 年

1/1 の話を 13 日に聞いて、思わず行く事を安易に決めてしまった。しかし、来て良かった。スキーと言うよりは山で暮らす事の方にウェイトがかかり、スキーの練習が全然出来ん。しかし、何と言っても今回の合宿は初めから散々だった。財布を落としてしまった。電車の中から線路に (横川駅) 落としてしまったのだ。何とついていない事か、しかし、出てきた事を考えると、ツキだしてきたのかもしれない。この Lucky を下界まで持って行って、今年は一気に幸せになるぞ! 純子が帰ってくれば、本当にもう最高だ。つね吉に刺激された。

純子! 四月決戦まで女をみがいでいる!

外・天下谷秀文 (浜崎友)

昭和 59 年 3 月 16 日(金)

外は小雪. 0:30pm

研究室の先輩 菅兄を引き連れ、スキーと酒と雪かきをしに、そして静かに物思いに耽りに参りました。森嶋の字が懐かしい。元気にしとるか。3/13 の夜行で来て、明日の夜行で帰る予定です。今日は中日、雪も降

ってるので笹ヶ峰行きも止めて、小屋の雪掘りと造林小屋の雪下ろしをしました。疲れた！大学院に進学して早や1年。瞬く間に時間は過ぎ、学生生活も後1年、山にも行きたいし勉強もせにゃならんし、でも本当は、勉強は好きでないです。あんなもん、いやだ～ と言いながら、将来はメシの種にするんでしょう。

OB23rd 武藤

先輩諸兄は元気にしとられるでしょうか。あの石垣のどつつあんがロンドンへ飛ばされ、また女の先輩の方々が次々と結婚される話の流れで、時の経った事を感じています。初めて小屋に来たのは何年前のことでしょうか。そして何日間、この小屋で過ごしたとか。時は流れても、頭の中身は大して変わらず、困ったもんです。

5月の連休には、三田原・火打・黒姫と登りたい。やっぱり自分は山が好きです。(植草さんの様に大滑降したいのですが…)

そして来年の今頃はNewZealandの藪をかき分けかきわけ、ヨヨイノヨイとする積もりです。それから帰ってきたら学生生活最後の苗名小屋にGirlFriendとスキーでもしに来ましょう。これはあくまで予定です。未定です。やや、頭の中身が変です。酒が欲しい……

OB23rd ムト

3:00pm

菅アニーはサンアントンまで酒を買いに行きました。彼は国大スキー部出身で、スキーはバツグン。随分アドバイスされ、ためになりました。それにしても制動ウェーデルンはできん。これじゃ八方に行ったらまた惨めな思いを…ウウ

23キの諸兄は元気にしとるでしょうか、オ～～イ、元気カ～～。氷壁に狂っている真行、仕事に忙殺されているアメラグの仙名、経理に配置換えされまたまた忙しい剛、会社は面白くないと言っている雑、相変わらずマイペースの大津山、結婚の近い丸茂、土方に完全になりきったイトー、桜島の灰を浴びている仲良し4人組の中戸、金がないのはお互い様の荒井、念願の先生になって殴られること請け合いの高山、少年パナマのカトー、仲々連絡のとれない高岡、金勘定がうまくなった根岸、みんな元気か。オレはここ、山小屋でおめえらの分まで酒飲んでンゾー、山には行ってるカー。山を忘れちゃったらいけんゾー。女はどうしたー。返事がないゾー。そうかそうか、みんな苦しんでるんだね。俺に任せなさい。happy!

23キ会名付けて野郎会をまたまた来年の2、3月頃にやるから、みんな来てね～。

女の話が出てきましたので、ヒマにまかせて23期将来の図、第一弾。

●真行(国大院情報)【現状】”山岳会に入って女を見つけないぞ”という公言通り、関内辺りを引き回しているという噂【未来】割とまともな見合い結婚という神話も崩れるか【期待度100基準】105

●仙名(日生大阪本社)【現状】女が寄ってきそうで、それを拒否するという、23期中でも謎の人物。仕事に忙殺されている現状を考えると2、3年先に春が来る図が濃厚【未来】可愛い女(ヒ)を貰うでしょう。ただ仙名の外面のみを見てるようなのはダメ【期待度】現状では80x(1≤x≤1.2)

●吉田剛(日立栃木)【現状】リング嬢に囲まれ嘆くことしきり。現状は厳しい【未来】良きパパさんになるでしょう。(もうなってる?)気の良い女もそうでないのも、両方OK。女の前に出たら、もうグデグデ。頑張ってパパ!【期待度】現状70+守備範囲の広さ35=105

●雑田豊(富士フィルム)【現状】増永ちゃん元気が良い。現在、宗教問題で悩んでいる。これをどう乗り切るか。【未来】ノンビリ屋か雑以上に雑なヒトがいいのでは。とにかくアイツについていくのは大変。O型の女性がいいのかも。本人は面食いではないので、将来は明るい。【期待度】現状の困難を考えると85

●丸茂(東電福島)【現状】言うこと無し。小学校以来からの仲という事実には脱帽【未来】尻に敷かれるでしょう。そして、それを喜ぶところが彼の持ち味【期待度】可愛い赤ちゃんを期待して120

●大津山(大和証券)【現状】現役時代は勿論、今まで奴の口から女の話が出た事が無い【未来】わからん。相手を早く見てみたい一人。けど、割合常識人なので、突拍子も無い事はしないだろう。【期待度】?

●イトー(西松建設)【現状】現在土方生活。女と言えば飯場のおばちゃんだけ。苦しい。【未来】東京に戻ってくれば早そう。但し、デレデレする癖あり、要注意。【期待度】現時点では50x(0.1≤x≤3)

●ナット(安田信託銀行)【現状】彼によれば、1階の女の子からは嫌われているが、2階の女の子には受けが良いとか。誠に中戸らしい分析。【未来】社内結婚率60%を信じて入社。この路線に乗ることは見えている。ガンバって。【期待度】105

●荒井(国大)【現状】結婚は30過ぎ。それまではいろいろな女(ヒ)を知りたいというモットーは筋金入り。【未来】見えない【期待度】80

●高山(先生)【現状】ミーハー好きは23期随一。ただ大学時代は不運にも、国大という環境から信念を通せず。【未来】なんてったって先生だから、へたな事は出来ない。あの栃木風的笑顔を如何に活かすか。【期待度】90

●少年パナマ事ポッピカット(中小企業金融公庫)【現状】松本城をデートした事は明らかにされたが、そ

れ以後の情報は途絶えた。クーデターか？【未来】故郷ベネズエラ、又はウガンダに帰り、鼻輪美人をもらおうという噂も、兎に角相手を見てみたい No. 1。几帳面なので、ズボラはダメみたい。【期待度】200

●高岡【現状】幸せイッパイ。それを邪魔されない様に。【未来】結婚は近い。ガンバって！【期待度】120

●根岸（東洋信託銀行）【現状】悠々マイペースという感じ。【未来】彼特有の自己確認的スタイルについてくる女がいいでしょう。【期待度】100

●ムト（国大大学院）【現状】晴れたり曇ったり、時には土砂降りも。対応に苦慮。【未来】ピッタシカンカンの相手は、そうやたらに居ないだろうと言う噂も。但し、本人はそれ程気にしていないと言うよりも、そう、信じたい【期待度】90

最後に、みんなガンバレよー。 独断と偏見を込めて

OB23キ 武藤

字は下手ですー

妙高 苗名小屋、初めて来ました。今年は兎に角雪が多い。ここも異常に多い。駅からバスで来たのだが、両側には2, 3mの壁が出来ており、とにかくすごい。小屋に入る時には、ラッセルが大変だと聞いていたが、今回は丁度、クラブの人達が3人（一人は部外者の女性でした）入っており、ラッセルは全くしなかった。しかし、それにしても雪の道を歩くのは苦しかった。ムトーに聞くと、”今回は楽ですよ”とのこと。小屋に人が居たおかげで、メシも楽に食べ、部屋は暖か（少しだけ）で真にラッキーだった。スキー場も練習をするには良い斜面であり、コブは無く、コースは長く、良いところだった。それにも増して、人が居ない。リフトの待ち時間ゼロ、いや～実に快適なスキー場である。唯、体力的な面に問題があり、年取ったな～。快適なスキーツアーであった。

ムトー君には大変お世話になった事を深く感謝します。（スキーツアーでも、研究室でも）

ムトー君の研究室の先輩 菅史夫（横浜国大大学院電気2年）

昭和59年3月17日(土)

曇のち雪 OB18th 山口貢三（*才）、山の仲間 村石等（19才）

私の仲間である若者村石君は下記の特徴を有する。

1. 酒好き…小屋にある空き瓶から残った酒をかき集めて飲むほど（約10cc集める）
2. 鉄道マニア…お正月、九州まで郵便列車を追いかけた、半分キセル。

3. 山大好き人間…良く言えば渋い山を特に志向する。

4. 21th 中川先生の教え子…世間はなるほど狭いモノだ。

我々の山の会で唯一学割で飲める。（川崎:山路クラブをよろしく）

しかし、彼にとってスキーは初体験。第3リフトから小屋迄、約50分所要。そこで、今日は特訓をすべく、ゲレンデに向かったのだが、吹雪となり1:30で中止。仕方ないので、小屋の中で日記を読む。懐かしい名前、未知の名前入り混ざり、遠い昔の記憶も甦る。さて、私の近況であるが、12～2月にかけてゲレンデスキー、3月～5月は山スキー、6月は温泉山行、7月雨でお休み、8月～11月沢 というパターンが定着しつつある。会社の休みが正月、5月、夏の3回、大型連休となるが、それ以外は殆ど日帰りである。社会人になりたての頃は、18th 植草と1回位で後は記憶にない。ところが半年後、17th 川俣氏が週刊就職情報を見たかは定かではないが、私の所属する某自動車メーカーに入ってきた。それからというもの、北は北海道、南は九州まで同行することとなり、山のパートナーとしてかけがえのない存在となっている。しかし、やがて川俣氏はテニスの道を選び、それと共に山の回数も減ることとなった。（それでも年に1回山行を共にし、スキーは数回同行している。）そんなこともあって、現在川崎の山路クラブという沢と山スキーとカモシカ山行とマラソンの好きな集団へ加わる事となった。それ以後、専ら山のパートナーはクラブのメンバーとなっている。その一人が村石君であり、明日入小屋する浅井、後藤、小山といったオジサン達である。

OB18th 山口貢三

昭和59年3月18日(日)

雪

昨日から雪は降り続き 40～50 cm積もる。夕方まで降り続く。

10:30 後続の5名到着。午後よりスキーで遊ぶ。

OB18th 山口貢三

昭和59年3月19日(月)

曇りのち雪

夜中は雪が降らなかつたらしく、トレースが埋まっていない。全員三田原を目指して出発。ラッセルが予想されるので、頂上は無理かと思われる。1:30 帰着。標高1800mで引き返す。下りは1:30、登りは4:00。下りが余りにあつけないので、もう少し粘っても良かった。スキー場に行かず宴会となる。

OB18th 山口貢三

《広告版》

■ここで山路クラブの会員プロフィール

- ◇浅井克祐〔特技〕シール作製 (マルク印のシール
〔好み〕焼きそば
〔職業〕悪徳不動産
 - ◇後藤実〔特技〕山岳写真 (山溪に毎回入選しているよ)
〔好み〕ダジャレ
〔職業〕プラスチック部品会社社長
 - ◇平井美智子〔特技〕マラソン
〔好み〕山スキー
〔職業〕会社員
 - ◇村石等〔特技〕キセル
〔好み〕野沢の油炒め
〔職業〕大学生
 - ◇小山博〔特技〕バテルこと
〔好み〕嫁さん (新婚1年目)
〔職業〕会社員
 - ◇渡辺氏〔特技〕酒を飲まない事
〔好み〕
〔職業〕浅井氏と同じ悪徳不動産
- 山路クラブの特徴
- ◇根拠地 川崎
 - ◇馴染みの店 川崎仲見世「なかや」
 - ◇山行形態 沢と山スキーとマラソン
- 山路クラブの寄贈品目録
1. ブタガス 3コ
 2. アンカ 1コ
 3. トランシーバ 一組

OB18th 山口貢三

昭和 59 年 3 月 20 日 (火)

晴れ ガス

- ◇後藤実：みんなスキーが上手になったように感じた。今冬、26 回目の雪が東京に降った。妙高も東京も、違いが無い(?)。OB山口君、ゴク로우サン!
- ◇浅井克祐：キジ隊のみなさん大感謝。
- ◇小山博：ゴミカンの中で、ネズミがうごめいている。写真を撮った奴が居る。
- ◇渡辺雅夫：2泊するも、スキー技術退化す!
- ◇村石等：とても素敵な小屋でした。又チャンスがあったらスキーを持って来たいと思います。カンゲキ!
- ◇平井美智子：どうもお世話になりました。ステキな山小屋で楽しい日を過ごすことが出来ました。昨日は私の誕生日、卵豆腐でみんなからお祝いしました。素晴らしい思い出になりそうです。また来れるといいな。

昭和 59 年 5 月 6 日 (日)

'84.5/5-6 晴 20th 水田

こんにちは。今年は雪がまだ多く、まだまだスキーが滑れます。車で来たのだけれど、林道は五八木近辺までしか雪が切っておらず、そこでUターンして、杉の原スキー場からゴンドラに乗り、うるさい連中を無理矢理手なずけて、誉めたりすかしたりして漸くこの山小屋に辿り着いた訳です。

同行の連中は大変綺麗好きなやつらしく、この山小屋の腐ったマヨネーズに吐き気を催したり、毛布の山に軽蔑の眼差しをそそぎ、深く、ここに来たことを後悔した様子が痛々しいほど伝わってきました。かく言う私も清潔な生活を送っている毎日から抜け出て、久々にこの小屋に来て生活して、過去の小屋の日々を思い赤面しつつ、可愛かったな なんぞと思います。さて、同行の諸氏をご紹介します。

浅見靖 24 才 (西武建設)

内野直美 21 才 (西武不動産)

下田悦子 21 才 (オリエントファイナンス)

2 couple なのですが、恋人同士ではありません。同行の皆さんに小屋の印象を一言述べて貰いましょう。

OB20th 水田(20)

Hello!

ハッキリ言って一時はどうなることかと気が気でありませんでしたヨ。

水田さんの独断で山小屋に泊まってスキーをするという、この計画は、無理に実行された訳で、みんな (特に女の子二人)ブーブー文句を言いまくっていました。それにしても夜は寒かった。シュラフで寝るという経験は、初めての事なので、変な寝方をしたせいかわかりませんが、肩が痛くなってしまいました (サロンパス欲しいヨ)。でもネ、夜、外に出て星を見上げたんだけど、プラネタリウムみたいな感じで星がいっぱいいっぱい、今にも降ってきそーで、とっても神秘的でしたよ!これで来た甲斐があったというものです。ローソクで明かりをとるというのも初めての経験で、仲々良かった。

多分 もう来ることは無いとは思いますが、ここで体験したことは良き (!?) 思い出となるでしょう。お世話になりました、どーもありがとうございました。最後に素朴な疑問

(綺麗好きだと言い張る水田さんですけど…)

水田さんて、どーしてそんなに だらしないんですか?

では…

5/6 内野直美 外部・(20キ水田友)

こんにちは！水田さんに連れてきて貰った、何かと便利なオリエントファイナンスの下田さんです。

最初に山小屋の中に入ったときは全く驚きました。でも！腐りかけて変色したマヨネーズも、ボロボロの毛布も、1年以上も古い缶詰も、底に灰のこびり付いた灰皿も みーんな、気味の悪いくらい水田さんと調和していて、とっても良いと思いました！

水田さんへ

どーして そんなに汚らしいんですか？

外・下田悦子 (20キ水田友)

ども。後輩の浅見です。水田氏は、会社の1年先輩に当たる人で、入社以来のおつき合いです。この2, 3年のつき合いで、いろいろ面白い、不思議な人だと思っておりましたが、この山小屋へ来て、水田氏の生い立ちの全てが理解できたようです。女の子を連れてきて、幾分不安はありましたが、水田氏の話だけで楽しく一晩が過ぎました。ども、お世話になりました。水田さん…どーしてあなたは そんなに素晴らしいのですか？

外・浅見靖 (20キ水田友)

ps さて、関係方面の方々におわかりでしょうが、私は特に優れた変人でもない、ごく普通のワングル人であるのに、何故上述の如く、激しく揶揄されるのか、(特に女性に)、人間にとって自然であることが、如何に現代の一般社会に受け入れられないという事実を知るのです。ここに至って、我々同期(20th)を含めて、何とワングル同志のハッピーエンドの多い真の理由が理解できるのです。

乱筆にて good-bye

OB20th 水田

昭和59年8月12日(日)

本日、昼過ぎ上野を出発して、岡田と二人で夕方、小屋に入りました。電車は4時間立ちっぱなしで、バテてしまいました。明日からは妙高山、火打、焼山、雨飾を経て、山口か小谷温泉に下ります。

今回の山行の地域が決まったのは、昨夜、アミ君の下宿に於いてでした。それから準備して来ました。どうも、計画がいい加減すぎて先が心配です。でも、何処へ行くか決めるとき、時間の制約が我々社会人にはあるので、困ってしまいます。でも、とにかく山へ行きたいのです。あと2週間もすれば小屋合宿で賑やかになるんでしょうね。今は岡田と二人で静かです。でも、ここに早川一人が加わると、うるさいです。

折角来たので、キジ汲みでもして帰ろうかと思いましたが、時間もないし、1年生の唯一の楽しみを取って

はいけないので、代わりに明朝、たくさん大キジしていきます。手厚く葬ってやって下さい。では、また。

OB 24th 丸山活輝(23才)

本日より私は短い夏休みに入りました。計画が最終的に？決まったのは、今日のAM1:00過ぎ、アミ君の下宿からミーティングルームを私の家へ移してからでありました。まあ、兎に角ここへ来てみると、横浜のあの、うだるような暑さは、ここではウソのように涼しく、快適な社会人1年目の夏を過ごしております。明日からは久々の山に入りますが、えーと、多分5月連休の巻機山を途中まで登って以来になります。このところ、山のピークを踏んでいないので、これからの山行を楽しみにしているのですが、もしかしたら、ある事情により黒沢池高谷池巡り、あるいは笹ヶ峰ハイキングになるかもしれませんが、兎に角一応は大糸線側まで行く予定であります。

何故、今回丸山君と山に行く事になったかと言いますと、M女史が朝日連峰へ行って、する事が無いからだそうなんです。私はする事が無いから来た訳ではなく、山に是非登りたいから来たのです。

では、小屋合宿、頑張って働いてください。

OB 24キ 岡田拓 (ホンダワールド横浜出向)

再びマルが書きます。

上文、終盤、岡田が変なことを書いているが、実は岡田君のカノジョであるU女史が今、大島へボーイハントに行っている(無理だと思うけど)ので、いじけて山へ行こうと言ったのです。私は女など関係ないです。

(⇒ウソつけバカヤロー Masayoはどうした。)女なんて嫌いです。(⇒本当は好きなのだが、M女史の方が嫌っているらしい。)山の方がいいです。だから、山へ来たんです。いいですか、女なんてどうでもいいんですよ。仕事して、(⇒稼いだ金を女に貢いでいるのだ。)山に行ったらそれでいいんですよ。大体、女っていうのは、食べ物ばかり食うし、アホだし、泣けば済むと思ってるし、胸の無い奴でもブラなんかしてるし、生意気だ。オレは女が嫌いだ。

「大体、女はプロイラーの様に、籠に入れて並べられて、ケツを出して、男を待ってればいいのだ。そーだ、そーだ。オレは男だ。女はきらいだ。」(⇒「・・・」カット) だから小屋に来ました。山はいいなあ。

OB24th 丸山活輝

上の文章は、ほんとに下らない(⇒岡田がどれだけ下らん人間か知ってるか?)と思わないか。これを読んだ女の人は、丸山君に怒りなさい、特にMさん、丸山君は君のことをニワトリだと言っているのだ。関根と同じだと言っているのだよ。まあ、トリもMさんも、同じようなものだがね。女が嫌いだ と言っている男

に限って、女が好きなんだってさ。だから (⇒全然意味のない接続詞だ) 私は女が好きだし、それにも増して山に登るのが好きだから、今この小屋にいるのです。

NOTE

Mのつく女の人

Michiko

Matsushita

Masayo

→ALL WOMEN HAVE THIS

余りにも下らない文になってしまいましたが、本当はこんな事をやりに来たのではありません。山に登りに来たのです。

OB24期 岡田拓 (本田技研工業)

今までの文は、ほんのジョークで、これから岡田君と真面目な議論を展開しようとしているのです。

「山と人生に於ける生き甲斐の相関性」「ザックの重みと、友情の厚さの繋がり」など、君らにはわからん難しい話をするんです。これから。ではまた。

Nitsuko OB24期 丸山

p s 特別議題「山と女の等価性」(山あり谷あり、林あり。征服感を得る為にある)

OB24th 丸山活輝(24)

そういえば今日、テレビを見ていたら、偉そうな人が「山はペニスであり、谷は女性自身である。山から流れ落ちた水は、谷を貫くのだ」みたいな事を言っていた。

OB24th 岡田拓(24)

そう言えば、太陽は女性であると言われてます。山は、太陽に向かって、そそり立っています。

以上、タクとマルの「山と女の等価性」の議論終わり。

注 多少放送コードに引っかかる言葉がありました、読み飛ばしてください。

こら、キジ場前のゴミは何だ。きたねーな。小屋に入った時、「お、きれーだな」と思って、キジを撃とうとしたらゴミだらけだ。ゴミぐらい片付けなさい。

OB24th 丸山活輝

昭和 59 年 8 月 13 日(月)

今日は 6:00 に起きる筈であったが、寝坊してしまい、7:30 に起きた。空は晴れ渡り絶好の登山日よりだ。

OB24th 岡田拓

昭和 59 年 8 月 15 日(水)

晴

日曜の夜行で来ました。黒姫を経て笹ヶ峰へ。そして、

この山小屋へ着いたのが昨日の昼。誰か居るかと思ったが誰も居ず静かなモンです。ただ、プロパン置き場のゴミと言い、キジ場前(事務室)のゴミの散乱といい、一体何なんだ。ゴミぐらい袋に入れてまとめとけ！こんなこっちゃん、OBに”山小屋再建のキャンパをお願いします！”と言ったって誰も出さんぞ。あんまり汚いので、剛と二人でキジ場前を掃除、プロパン置き場のゴミはまとめて置いたので、現役の人、小屋合宿の時、お願いしやす。

黒姫へは東登山道を使って登りましたが、「七曲がり下」くらい迄林道が入っています。1年生の時のpwでは、一旦登り出すと、人の匂いや気配はしなかったんですが、やはり地元にはあれだけの森林資源を放っておく訳が無いわけで、これも時代なのかもしれない。それと、大弛から氷沢を越えて笹ヶ峰に入るコースも、途中、巡視経路(これは以前踏跡程度の道)が林道に拡大されていて、何度も登山道が切られています。(別地図あり：略)この林道も最終的には笹ヶ峰へ抜けるのかも知れない。大弛から笹ヶ峰への道は、以前(3年前の夏)より荒れ方がひどく、手は入れてない様子。蚊・アブそして笹の攻撃は、即効性日焼けクリーム”コパトーン”より効果大で、両手は笹ヶ峰へ着いた時、真っ赤になっていた。

OB 23キ 武藤

久々に山に登った。五万圓だけを頼りに黒姫に登ったが、ポイントだと思った「七曲り」が、実際はずっと麓の方にあり、そこで精力を使い果たした私は、後は地獄の苦しみを味わった。しかし、大汗をかいて健康になりました。

小屋に入ってから、ムトー君と一緒にコパトーンを塗って、日焼けに励んでいます。一番強力な「スピード日焼け用」を塗っているのですが、掌ばかり真っ黒に焼け、ちょっと異常です。

ところで、小屋の再建のための資金繰りはうまくいっているのでしょうか。また北側の柱が折れているが、もう本腰を入れて考えないと、二代目苗名小屋が見られないようになるのではないかと、心配です。

今日の午後、仙名君が小屋に入りました。彼にもコパトーンを貸してあげようと思う。ワングルの宝である小屋よ永遠に。現役の皆さん、手入れをしっかりと下さい。(ゴミはしっかりとまとめて置きなさい。ハエがブンブン飛び回って かなわん。)

OB 23期 吉田剛

No 20 ノートへ→

No 19 完了